





第14號
昭和28年1月15日發行
發行所 阿久根市役所
編集 阿久根市役所
印刷 阿久根市役所
郵政 阿久根市役所
廣報 阿久根市役所

茲に申し上げるまで
教育委員が発足した
教育行政の自主性の確
保のいゆる従来の中
央集権の教育から、そ
の教育に對して、地方
住民の意志を反映させ
ようというのがその趣

今後の教育は

かくありたい
阿久根市教育長 徳留 斌

年頭に當つて今後の
市教育の在り方への念
願の一端を申し述べた
い。世界に於ける大き
な地位を占めていた獨
立日本が、敗戦の洗禮
を受けて占領され、ア
メリカ文化の衣裝の中
に他との交渉を断たれ
て、うごめいてきた
数年を経てようやくこ
こに、獨立日本にた
ちかえつたのである。
しかし「獨立日本」と
は、いふもの我が現
實に生きてゐる姿は、
筋がねのない体にか
つてゐる。夢多き虚弱
に等しい。あたかも國
土の一角をふみかめて
つ成長ざかりの少年に
たとえられるのであ

一つ一つの實踐うちに
打つて一丸として實現
本縣農業の實態を正確に把握して今後の
農業行政の諸施策に資する爲に
調査
農業者の諸施策に資する爲に
調査の範圍
昭和二十八年二月
日現在、本縣内で農業
の規模以上の客体につ
いて調査いたします。
イ 經營耕地五畝歩以上
の經營耕地五畝歩に
みたらぬもの、或
は全く土地を耕作し
ないものでも、特殊
商品生産農業を營つ
るもので、その生産物
が、昭和二十七年中
における販賣價格
二〇、〇〇〇圓以上
のもの

調査事項
イ 農家人口及臨時雇
出稼者
ロ 經營農用地面積
ハ 農機具
ニ 肥料
ホ 農薬
ヘ 家畜、家禽
ト 専業、兼業別
チ 農産物作付面積
リ 文化關係
ニ 高及び販賣價格
調査機關
市長が選任した
調査員
御願
統計調査はその
業態をまもる爲に
協力をお願いします。
市政懇談會
市内各地域ごとに
開催いたします
市民の聲を聞く
民主政治が世論の上に立つた、政治でな
ければならないことは、今更言うまでも
ありません。
市政の動きを、廣く市民の皆様にお知
らせし、これに對する、市民の聲を聞く仲
介の役割をつとめるものが、市廣報の使
命であります。
本年も従来實施して来た、皆様の聲を聞
く會を市内各地域に於て、次の開催要領
を以て活発に實施いたします。
皆様方の多數御参加を御願ひし、きたん
のない建設的な聲を拜聴したいと思いま
す。
懇談會の實施要領
一、出席者市役所側市市長又は助役、各課長
二、日時場所
三、會の形式
四、會の主題
又ハ代理者
地元出身議員
各世帯より一人以上
日定表の通り
座談會式
市政一般
市役所では主題については、何
も準備しません
ハ 部活の出席者の質問を中心とし
て説明、討論する、從つて市
政に對する疑問、或ハ意見、希
望、要望等充分研究し準備して
おいて下さい
ハ 市役所以外の各種團體に對する
質問意見があるときは、なるべく
出席するように取り計います
希望の箇所を前以て申出しておい
て下さい

懇談會の性格
當局の仕事の内容を親切に「知らせる」と
共に、市民の聲を、直接當局の身に入れて
これを施策に反映させる
懇談會の順序
一 會を開く言葉
二 座長の挨拶
三 座長のあいさつ
四 質問や應答する上の心がけ
五 答へる人々の紹介(各課長の主管業務に
ついての説明)
六 質疑應答
七 會を閉する言葉
懇談會の實況と協議の結果は
どうするか
納得のゆくまで問ひだし、その會で解決
の出来ない問題は解決して、解決の出来ない
ものは世論として採りあげ、縣や市の行政當局
が施策を立案する場面に参考にし、行政に反
映させる、またその他の行政當局や、關係有
る公廳に陳情する、懇談會を
報に發表いたします

市政懇談會
日定表
一月二十日 折日 全地域
一月二十一日 田代 全地域
一月二十二日 へび野、横手
宮原、羽田
赤瀬川全地域
一月二十三日 新町 上野
一月二十四日 濱、町 高松
一月二十六日 大丸、遠見岡 倉津
一月二十七日 濁 波留
一月二十八日 遠矢、馬場 尾崎、弓木野
一月二十九日 佐濁 高之日
一月三十日 馬見塚、飛松 杉、落
一月三十一日 大川 本之半禮
二月一日 尻無 牛之預
備考 毎日午後二時開會午後五時終了予定
今月の納税は市民税
(第4期分) 1月25日
お忘れなく月末までにはお納め
下さい
全國のご自慢
コンクール大會
北薩地區予選開催
日時 2月15日午後12時
場所 阿久根市日新劇場
出場規定
一部 歌曲
二部 俗曲
三部 歌謡曲
出場資格者 男女十六才以上の日本人
申込
はがきに曲目、住所、氏名、職業
年令を書いて
鹿兒島市天保山町 鹿兒島放送局
事業課に御申下下さい